

機関誌編集委員会（第11回）

議事録

日 時	令和3年6月22日（火）17:30～19:00
場 所	Zoom 会議
出 席	藤井義博（藤女子大学）、木内喜孝（東北大学）、守屋達美（北里大学） 安宅勝弘（東京工業大学）、吉川弘明（金沢大学）、久保田 稔（関西学院大学） 鎌野 寛（香川大学）
欠 席	工藤 喬（大阪大学）

吉川委員長を議長として開会。議事日程に従って議事を進行した。

議 題

1. 2020.6 発行の機関誌 58(2)「論文集」の編集についての報告（資料1）、（資料2）
吉川委員長より本年6月発行予定の58（2）の掲載論文（特17、一般20）、編集経過等について説明があり、全員異議なく承認した。
2. CAMPUS HEALTH 59(2)」（2022年5月発行予定）の編集について
次号特集テーマについて、藤井先生からの「ポスト・コロナの大学保健管理～メンタルヘルス・フィジカルヘルスの新展開～」を含め、検討した。コロナの話題で特集をくむことは、全員異議なく承認した。
 - ・1年後が、コロナのどの過程にあるのか with、ポスト、イントラ？
 - ・ワクチン、メンタル、保健管理、社会学的 を含めて、様々な立場の方の記録としてとどめておく必要がある。
 - ・テーマのイメージをまずは、吉川委員長からご提示いただくことになった。
 - ・特集の取りまとめを何方にお願いするか。今後、候補者を考えつつ、国立大学保健管理施設協議会 感染症特別委員会委員長・羽賀先生にも打診してみる。
3. 「CAMPUS HEALTH」の一般公開についての確認
 - ① 58(2)の一般公開について：全員異議なく承認した。

- ② 過去号(2)の掲載方法について：全員異議なく承認した。過去の号に1つ1つさかのぼって公開する。先生方に掲載しても問題がないか確認と検討いただき、問題があるものは省いて掲載する。
- ③ J-Stage への掲載準備体制について：まずは、編集委員長と事務局で進める。眞継元事務長から、公開するリスクがいくつか示されていた経緯があるので、もう一度確認しておく必要がある。

4. 投稿規定「2. 内容」の改訂について（資料3）

- ① 「編集は原則として特集論文を中心とし、」の削除について
全員異議なく承認した。原著論文の投稿も以前にくらべて増えてきたため、削除しても差し支えない。研究集会時の優秀演題を必ず掲載していたが、その規定がなくなったことも理由の1つ。
- ② 「総説」の設定について
 - ・ 全員異議なく承認した。特集の執筆依頼がなくても特集に投稿できるように。位置付けとして、募集するのは、総説、原著、症例報告。委員会で特集を組むことがある。と、する。
 - ・ 総説を追加することで、「なお、特集論文は他誌の総説に該当する。」以降も削除可能。

編集委員長が、(案)を作成して後日、委員に提示することになった。

5. 査読に要する期間について、回答期限の延長について

- ① 回答期限の延長について
全員異議なく承認した。基本的には2週間を目途に。エディターの判断で、編集期間などを考慮したうえで3週間必要なときは、事務局にその旨、伝える。
- ② 2回目の査読について
 - ・ 1回目の査読で、すべての指摘事項を出すのが原則、2回目で新たな指摘をするのはルール違反。ただ、1回目の査読で大幅な修正があったが故に、2回目にも新しい指摘があることは不可避である。「読みやすくなったために、新たな指摘があることをご容赦ください」などの工夫も。
 - ・ 2回目に大幅な修正をしてきた場合は、エディターが査読者に注意しても良い。エディターの采配を先生方にお願ひする。

6. 機関誌編集委員名簿について

① 九州地方部会が空席中、連絡待ち。

② 来年ご退任予定の先生が2名いらっしゃるので、今後の委員について

- ・メンタル系の投稿が増えてきているため、内科系、精神科系のバランスがとれている方が良くもあり、地方部会ごとの推薦の規定はあるが、実情にあわせる。複数人の先生が入れ替わる時には、例外措置があっても良い。
- ・心理系の投稿が増えてきていることもあり、心理師を編集委員に加えることを委員会からの提案として反映できると良い。

以上をもって閉会とした。

(資料 1)

58 (2) 論文集(R3.6 発行) 掲載論文一覧 (掲載順)

巻頭言

巻頭言

守山 敏樹

特集 《新型コロナ感染症とキャンパスヘルス》

コロナ感染拡大とメンタルヘルスへの影響

岡本 百合

COVID-19 感染対策下における学生相談活動への取り組み

山田 裕子 ほか

コロナ禍における学生相談・メンタルヘルス相談

高田 純 ほか

大学のリモート化と学生生活

平井 信英

千葉大学と新型コロナウイルス感染症の 2020 年

潤間 励子

コロナ禍における保健室での健康支援

砂川 昌子 ほか

多キャンパス中規模大学における感染症体対策の課題

羽賀 将衛

コロナ禍の健康支援について

石川 宜子 ほか

With Corona における学生定期健康診断の経験

山崎 恵 ほか

コロナ時代の当大学における WEB 問診を用いた学生定期健康診断の実施

高橋 綾 ほか

新興感染症発生時の対応とリスクコミュニケーション

眞崎 義憲

感染症届出制度 -体調不良時の自宅待機-

高橋 健太郎 ほか

「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を中心とした大学の対応と保健管理部門のかかわり

原田 賢治

新型コロナウイルス感染症における登校停止申請・寮・課外活動での対策

中西 美和 ほか

コロナ渦で迎えた第 58 回研究集会を担当して

石見 拓

大学における新型コロナウイルス感染防止対策に関するアンケート調査を踏まえて

佐田 文宏 ほか

With コロナ時代の Campus Health

守山 敏樹

原著論文

- 行動活性化が大学生のキャリア探索に与える影響 菊地 創 ほか
- 信州大学総合健康安全センターにおける学生相談— 精神医学モデルからみた学生対応 — 高橋 徹 ほか
- 信州大学総合健康安全センターにおける発達障害関連相談の実態 高橋 徹 ほか
- 麻疹・風疹定期予防接種制度の変遷と新入生の麻疹・風疹抗体価 大見 広規 ほか
- 看護教員が感じる発達障害およびその特性がある看護学生の教育支援上の困難と、発達障害のイメージ 川上 ちひろ ほか
- 保健学習調査に基づく大学での保健教育の検討 大島 紀人 ほか
- 男子大学生の健康診断データの経時的動向と生活習慣との関係-学部1年から修士1年までの健診・問診データの縦断的解析- 高山 佳子 ほか
- B型肝炎ワクチンの種類と抗体陽転化率及び接種後抗体価 佐藤 弘恵 ほか
- 信州大学における学生支援体制の拡充と効果—精神的健康と自殺予防の観点から— 山崎 勇 ほか
- 信州大学における学生相談の変遷 金井 美保子 ほか
- 新型コロナウイルス流行時の学生・教職員の健康観察実施を試みて 鈴木 のり子 ほか
- 「精神医学概論」授業への関心と反応について 石井 映美 ほか
- 新型コロナウイルス感染拡大がもたらした大学生への影響—健康診断時質問調査からみる実態とその変化— 足立 由美 ほか
- 学生相談における Web 会議システムを用いた遠隔相談の取り組みと今後の課題 小田 真二 ほか
- 新型コロナウイルス感染拡大防止下での学生相談と Web 相談受付フォームの導入 小田 真二 ほか
- 大学生向けキャリア教育ゲームの開発および評価—時間的展望の変化に焦点を当てたパイロット研究— 勝又 陽太郎 ほか
- 発達特性に関連した困り感とメンタルヘルスの関連—チェックリストを用いたアプローチ方法の検討— 三好 智子 ほか
- コロナ禍下のオンラインを活用した健康支援の具体例 石川 宜子 ほか
- 新入学生のメンタルヘルス状況及び発達障害傾向と低単位との関連について 加来 春日 ほか
- 本学教職員の睡眠に関する実態調査 大里 貴子 ほか

CAMPUS HEALTH 58 (2) 特集執筆依頼者 テーマ：新型コロナ感染症とキャンパスヘルス

2021.6.18現在

掲載順	所属	筆者	論文タイトル	Received	Accepted
1	広島大学 保健管理センター	岡本 百合	コロナ感染拡大とメンタルヘルスへの影響	March 8, 2021	April 9, 2021
2	北里大学 健康管理センター学生相談室	山田 裕子 ほか 1名	COVID-19 感染対策下における学生相談活動への取り組み	February 9, 2021	March 10, 2021
3	東京工業大学 保健管理センター	高田 純 ほか 4名	コロナ禍における学生相談・メンタルヘルス相談	February 27, 2021	April 9, 2021
4	東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構	平井 信英	大学のリモート化と学生生活	May 10, 2021	May 20, 2021
5	千葉大学 総合安全衛生管理機構	潤間 励子	千葉大学と新型コロナウイルス感染症の2020年	February 27, 2021	March 10, 2021
6	東京女子大学 教育研究支援部保健室	砂川 昌子 ほか 2名	コロナ禍における保健室での健康支援	February 26, 2021	May 9, 2021
7	北海道教育大学	羽賀 将衛	多キャンパス中規模大学における感染症体対策の課題	March 17, 2021	April 22, 2021
8	立命館大学 保健センター (BKC)	石川宜子 ほか 12名	コロナ禍の健康支援について	April 6, 2021	May 12, 2021
9	お茶の水女子大学	山崎 恵 ほか 1名	With Coronaにおける学生定期健康診断の経験	April 13, 2021	June 9, 2021
10	慶應義塾大学保健管理センター	高橋 綾 ほか 1名	コロナ時代の当大学におけるWEB問診を用いた学生定期健康診断の実施	March 1, 2021	April 30, 2021
11	九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター	眞崎 義憲	新興感染症発生時の対応とリスクコミュニケーション	February 28, 2021	
12	神戸大学 保健管理センター	高橋 健太郎 ほか 2名	感染症届出制度 -体調不良時の自宅待機-	February 26, 2021	March 11, 2021
13	東京農工大学 保健管理センター	原田 賢治	「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を中心とした大学の対応と保健管理部門のかかわり	March 1, 2021	March 11, 2021
14	関西学院大学 保健館	中西 美和 ほか 1名	新型コロナウイルス感染症における登校停止申請・寮・課外活動での対策	February 27, 2021	March 11, 2021
15	京都大学 環境安全保健機構	石見 拓	コロナ渦で迎えた第58回研究集会を担当して	June 15, 2021	June 17, 2021
16	中央大学 保健センター	佐田 文宏 ほか 1名	大学における新型コロナウイルス感染防止対策に関するアンケート調査を踏まえて	May 7, 2021	June 1, 2021
17	大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター	守山 敏樹	With コロナ時代のCampus Health	May 31, 2021	June 2, 2021

CAMPUS HEALTH 5 8 (2) 一般投稿論文

2021.6.18現在

掲載順	所属	筆者	表題	担当	Received	Accepted
1	中央大学大学院 文学研究科	菊地 創 ほか 1名	行動活性化が大学生のキャリア探索に与える影響	工藤 喬	May 18, 2020	December 11, 2020
2	信州大学 総合健康安全センター	高橋 徹 ほか 11名	信州大学総合健康安全センターにおける学生相談— 精神医学モデルからみた学生対応 —	安宅 勝弘	june 1, 2020	December 17, 2020
3	信州大学 総合健康安全センター	高橋 徹 ほか 11名	信州大学総合健康安全センターにおける発達障害関連相談の実態	安宅 勝弘	june 1, 2020	December 17, 2020
4	名寄市立大学 保健福祉学部栄養学科	大見 広規 ほか 6名	麻疹・風疹定期予防接種制度の変遷と新入生の麻疹・風疹抗体価	鎌野 寛	July 7, 2020	January 18, 2021
5	岐阜大学 医学教育開発研究センター	川上 ちひろ ほか 1名	看護教員が感じる発達障害およびその特性がある看護学生の教育支援上の困難と、発達障害のイメージ	藤井 義博	August 20, 2020	December 11, 2020
6	東京大学 相談支援研究開発センター	大島 紀人 ほか 1名	保健学習調査に基づく大学での保健教育の検討	久保田 稔	November 27, 2020	December 25, 2020
7	静岡大学 保健センター浜松支援室	高山 佳子 ほか 11名	男子大学生の健康診断データの経時的動向と生活習慣との関係- 学部1年から修士1年までの健診・問診データの縦断的解析-	木内 喜孝	December 24, 2020	April 20, 2021
8	新潟大学 保健管理センター	佐藤 弘恵 ほか 7名	B型肝炎ワクチンの種類と抗体陽転化率及び接種後抗体価	吉川 弘明	December 25, 2020	May 31, 2021
9	信州大学 総合健康安全センター	山崎 勇 ほか 9名	信州大学における学生支援体制の拡充と効果—精神的健康と自殺予防の観点から—	工藤 喬	December 28, 2020	February 19, 2021
10	信州大学 総合健康安全センター	金井 美保子 ほか 9名	信州大学における学生相談の変遷	藤井 義博	December 28, 2020	March 9, 2021
11	千葉大学 総合安全衛生管理機構	鈴木 のり子 ほか 13名	新型コロナウイルス流行時の学生・教職員の健康観察実施を試みて	丸山 徹	December 28, 2020	February 24, 2021
12	早稲田大学 保健センター	石井 映美 ほか 1名	「精神医学概論」授業への関心と反応について	工藤 喬	December 30, 2020	February 15, 2021
13	金沢大学 保健管理センター	足立 由美 ほか 3名	新型コロナウイルス感染拡大がもたらした大学生への影響—健康診断時質問調査からみる実態とその変化—	久保田 稔	January 12, 2021	April 20, 2021
14	九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター	小田 真二 ほか 5名	学生相談におけるWeb会議システムを用いた遠隔相談の取り組みと今後の課題	藤井義博	January 12, 2021	April 30, 2021
15	九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター	小田 真二 ほか 5名	新型コロナウイルス感染拡大防止下での学生相談とWeb相談受付フォームの導入	藤井義博	January 12, 2021	May 19, 2021
16	東京都立大学 人文社会学部	勝又 陽太郎 ほか 1名	大学生向けキャリア教育ゲームの開発および評価—時間的展望の変化に焦点を当てたパイロット研究—	藤井義博	January 12, 2021	February 26, 2021
17	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部心理学科	三好智子 ほか 2名	発達特性に関連した困り感とメンタルヘルスの関連—チェックリストを用いたアプローチ方法の検討—	安宅 勝弘	January 12, 2021	March 1, 2021
18	立命館大学 保健センター	石川 宜子 ほか 12名	コロナ禍下のオンラインを活用した健康支援の具体例	鎌野 寛	January 15, 2021	May 14, 2021

掲載順	所属	筆者	表題	担当	Received	Accepted
19	九州大学 コーディネート室	加来 春日 ほか 4名	新入学生のメンタルヘルス状況及び発達障害傾向と低単位との関連について	安宅 勝弘	January 21, 2021	April 30, 2021
20	青山学院大学 保健管理センター	大里 貴子 ほか 9名	本学教職員の睡眠に関する実態調査	守屋 達美	January 21, 2021	May 2, 2021
取り下げ	東京家政大学 子ども学部子ども支援学科	水野雅之、他2名	友人への援助要請の利益とコストの予期と楽観性の関連		倫理審査受けていないため	倫理審査受けていないため
取り下げ	お茶の水女子大学 保健管理センター	山崎恵、他1名	自閉症スペクトラム症傾向を持つ女子大学生における飲酒と精神的健康度との関連	藤井 義博		

1. 投稿資格

筆頭執筆者及び corresponding author は、本協会会員とする（第一種会員所属大学の教職員・学生を含む）。ただし、依頼原稿（特集論文等）の場合は会員以外でも可とする。

2. 内容

編集は原則として特集論文を中心とし、それに加え、健康管理、医療、教育などに関する原著論文および症例報告、サマリー、所感、トピックス、行事予定・報告、各学会・分野の動向・紹介、追想文、追悼文、健康相談、書評などとする。なお、特集論文は他誌の総説に該当する。原著論文、症例報告については未掲載のものとし、二重投稿は禁ずる。

3. 論文の受付・受理および掲載

- 1) 原稿は、本協会ホームページにある投稿用フォーマットを使用し、図表、グラフ等もフォーマット中に入力されたもののみ受付けるものとする。電子原稿を本協会事務局にメールにて添付送信すること。投稿規定の「チェックリスト」にチェック、責任者署名を付し、「承諾確認書」に著者全員の署名を付し、「COI 自己申告書」に署名の上、原稿送付時に同送すること。
なお、特集論文と原著論文の投稿用フォーマット、チェックリストは異なるので、注意すること。
- 2) 対象者などに文書または口頭で同意を得たもの、および著者の所属機関の倫理委員会の承認を得たものは、その旨を方法のところに明記すること。また症例報告については別に定めたガイドラインに従うこと。症例報告では症例報告同意書を提出すること。
- 3) 論文掲載の採否は2名以上の査読者の審査結果に基づき編集委員会が決定する。
- 4) 査読者は本会の会員大学の保健管理施設教員および推薦された専門の教員・研究者の中から編集委員会が選定する。
- 5) 論文掲載の採択が本協会から通知されたら、最終原稿を事務局に送付すること。
- 6) 本誌ならびに本協会の採択するインターネットホームページ上に掲載した論文の著作権は本協会に所属する。
- 7) 本誌に掲載した論文の無断転載を禁ずる。

4. 論文の形式

《原著論文》

原則として「要旨」600字以内、「キーワード」5語以内、「はじめに」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」の順に記載すること。

英文抄録には「表題」、「著者名」（肩書は不要）、「所属および所在地」、「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）、「Abstract」200語以内をこの順に記載すること。

英文抄録は native speaker によるチェック、もしくはそれに準ずるチェックを受けること

《特集論文》

原著論文に準ずるが、「要旨」、「キーワード」、英文抄録は不要。

《症例報告》

原則として「要旨」600字以内、「キーワード」5語以内、「はじめに」、「症例」、「考察」、「結語」、「文献」の順に記載すること。

英文抄録には「表題」、「著者名」（肩書は不要）「所属および所在地」、「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）、「Abstract」200語以内をこの順に記載すること。

英文抄録は native speaker によるチェック、もしくはそれに準ずるチェックを受けること。

《原著論文・症例報告以外》

特に形式を定めない。

5. 論文記載の順序・形式

原則として刷り上がり 6 頁以内とする。

協会ホームページにある投稿用テンプレートを使用し、本文、図表、文献、等を含めた全体で 6 頁以内とすること。

《表紙》

表題、著者名、ランニングタイトル(25 字以内)を記し、下段に所属および所在地、筆頭執筆者または corresponding author の連絡先住所・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレスを記すること。

《章、節などの区分》

原則として、右のような形式で記述のこと。【Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C・1.2.3・a.b.c】

《略語》

略語については、本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。専門用語の解説についても同様とする。

《文献》

文献は、引用箇所の右肩に上付きで 1)、2) のように引用順に番号で示し、原稿末尾に下記の形式で番号順にまとめて記載すること。文献数は 20 件以内とする。雑誌の略号は INDEX MEDICUS の表記に従い、それがないものはフルネームで記載する。

著者は 3 名までとし、それ以上の場合は以降を省略し、英文では「et al.」、和文では「他」を付する。

原則として、インターネットホームページは文献として認めない。

(雑誌の場合) 執筆者名. 論文名. 雑誌名 発行年; 巻数: 引用開始頁-終了頁.

Alessandrini P, McRae J, Feman S, et al. Thromboxane biosynthesis and platelet function in type I diabetes mellitus.

N Engl J Med 1988;319:208-212.

今井草二, 遠藤真弘. 先天性冠動脈疾患. 呼吸と循環 1973;21:397-409.

(単行本の場合) 著者名. 論文名. In: 書名. 編集者名. 出版社名; 所在地: 発行年. p. 引用開始頁-終了頁.

Abboud CN, Lichtman MA. Structure of the marrow and the hematopoietic microenvironment. In: Williams Hematology 6th ed. edited by Beutler E, Lichtman MA, Coller BS, et al. McGraw-Hill; New York: 2001. p. 29-58.

白鳥康史, 小俣政男. ウイルス性慢性肝炎. In: 内科学 第 6 版. 杉本恒明, 小俣政男編. 朝倉書店; 東京: 1995. p. 1036-1039.

《図(写真)、表》

図、表、写真はそのまま印刷できる鮮明なものに限る。挿入箇所を明瞭に原稿欄外に指示すること。

6. 校正

1) 著者の校正は初校 1 回のみとし、以降は編集委員会において行う。原稿の変更は初校時までとし、軽微にとどめること。

2) 正誤表は、刷り上りの論文が著者の校正と異なる場合のみ、これを作成する。

7. 別刷り

別刷り作成は、特別に用意しない。

8. 現行はメールに添付のうえ下記アドレスに送信し、提出締切は毎年 12 月 31 日(必着)までとする。

投稿された原稿は原則として返却しない。

(原稿送信先 E-mail) staff@health-uv.jp (担当: 小野)